

氏名	菅 嘉 彦
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 609 号
学位授与の日付	昭和 49 年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学位論文題目	Rauscher Virus Vaccine による Rauscher Leukemia の免疫治療に関する研究 第 I 編 脾腫，末梢血液像，病理組織像並びに電 顕所見について 第 II 編 血清蛋白像の推移について
論文審査委員	教授 大 藤 真 教授 小 坂 淳 夫 教授 妹尾左知丸

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

第 I 編：BALB/c 系マウスを用いて Rauscher Virus Vaccine により Rauscher Leukemia の予防並びに治療実験を行った。即ち Virus 接種と同時に，1 週後，3 週後，6 週後に Vaccine を接種し，以後経時的に行った末梢血液像，病理組織像の検索より白血病の発症と治療効果を確認し，かなりの予防と治療効果を認めた。また電顕により脾内 Virus 粒子を観察し，白血病の寛解増悪と Virus の増殖との間に相関関係が存在するという結論を得た。

第 II 編：第 I 編と同様の実験系において，対照群，無効群，有効群についてそれぞれの血清蛋白分画をセルローズアセテート膜による電気泳動法及び寒天平板法による免疫電気泳動法を用いて検索した。有効群では， γ -globulin と β -globulin が増加した。これは腫瘍に対する宿主の反応である。また対照群，無効群には異常分画が出現した。これは腫瘍側の因子の何等かの反映であるという結論を得た。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は，Rauscher Virus Vaccine による Rauscher Leukemia の予防ならびに治療実験を行なったものであるが，従来十分確立されていない白血病の免疫治療について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は，医学博士の学位を得る資格があると認める。